

(2021~2022年度 国際ロータリー・テーマ)



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



「梅香る弘道館」(水戸市)

## 自然災害と減災

齊藤 佳昭 (専門工事)

最近の地球環境で経験もした事の無い異常な現象の自然災害が発生していて、災害を未然に防ぐため早期発見する技術開発等を行っていますが、発生した災害の規模を小さくする事は極めて困難であり不可能に近いと思います。災害が発生した時に被害を少なくする『減災』という対策なら多少でも自分や会社でも係われるかと思っていたら、減災に係われるお誘いを頂きました。災害時のボランティア活動は東日本大震災や鬼怒川決壊で微力ながら参加させて頂いた経験はありましたが、先日は実技を伴う講習会に参加してきました。高輝度蓄光で避難誘導の表示板や高輝度蓄光塗料という新しい新技術になります。蓄光は今までにも、見たり体験したりする事があったとは思いますが、これまでとの違いは、明るさと発光(発生)している時間の長さになります。蓄光は紫外線を吸収して夜間や暗所の場所で、自力で発光します。蛍光は同じ紫外線で光りますが、紫外線が無いと光ること

が出来ませんし持続時間も短い物になります。従来の蓄光は2時間程度しか発光しませんでしたが、高輝度蓄光は720時間発生して既定3 mcdの明るさを維持している事が必要になります。J I SやI S Oの表示の安全標識基準の規格が明確に規定されています。

R M蓄光塗料は12時間の発生が可能で災害発生時や夜間、停電時でも発生して救済活動や避難時の目印、誘導の視認を確保出来て減災対策に貢献できるものだと思います。今までの高輝度蓄光は、屋内用途の物が多く屋外に使用できる物が有りませんでした。屋外に使用できて電力を使用しなくても発光している為、東日本大震災以降には沿岸部の津波避難対策として発光機能付きの避難表示板が増えたそうです。色も今まででは淡い緑色がほとんどでしたが、R M蓄光は気持ちを抑えられる効果のある淡い青色が特徴です。少しでも減災に繋がるように活動していきたいと思います。

No. 8 2021・9・14

1951年3月6日設立  
1951年3月15日RI認証

■事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階  
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825  
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mitо-rc.jp/>

**水戸ロータリークラブ**

■会長 岡崎恵一郎 ■幹事 白田 礼治

■例会日  
毎週火曜日・12時30分  
常陽銀行本店8階

## 【卓 話】 すべての出会いに感謝して

中庭 忠 会員（人材派遣）



昨年の10月にこの歴史と伝統ある水戸ロータリークラブに入会させていただきました中庭です。どうぞよろしくお願ひいたします。

まずは自己紹介をいたします。家族は妻、小2の長男、幼稚園年中の次男、妻の母の5人です。1969年6月、日立市に生まれました。父は大工の職人、母は工場でパートの仕事をしていました。10歳の時に現在の実家であります東海村に引っ越し、その後、兄が通っていた茨城工業高等専門学校に入学しました。ここでは軽音楽部に所属し、バンド活動ばかりしておりました。

20歳の時、自分の人生を変える、ある恩師と出会いました。私は、卒業を前に、将来自分は何をやりたいのか考えるようになっていました。そんな時に、その恩師から「夢というのは、その絵が描けて、それに隅々まで色を塗れるようなものでないとダメだ」と言われました。私は、漠然としていた自分の夢を明確にしていきました。すると、将来自分がリーダーとなって、たくさんの仲間と一緒に仕事をしているイメージが湧いてきました。そして、「10年後、30歳で社長になる」と決めました。

その恩師は続けて「1年の苦労を3カ月でやり遂げると、3年分の価値がある。」「3年分の苦労を1年でやり遂げると、10年分の価値がある。」「10年分の苦労を3年でやり遂げると、一生分の価値がある。」と私に言ってくれました。そして私は、10年分の苦労を3年でやり遂げようと思い、3年間、東京で営業職として修業しました。

茨城に帰ってきて、「自分は何の会社を作るのか」を考えながら、転々と職を変え、様々な職種・業界を経験しました。そこで27歳の時に出会ったのが人材派遣でした。そのころは派遣があまり浸透している時代ではありませんでしたが、この業界はこれから伸びていくと思い、この業界で独立しようと決めました。地元企業で3年間、大手企業で1年間ノウハウを勉強したあと、31歳の時に今の会社を起業することが出来ました。私はここで夢や目標を明確にして行動していくこと、そして「決める」ことの大切さを学びました。

会社を興した私は、サラリーマンの経験しかありませんので、経営の仕方が全く分かりません。そこで、知人の紹介で商工会議所に入って、そこで知り合った人たちと経営の勉強会を作りました。決算書の見方すらわからなかった私は、ここでたくさんの学びを得ました。今の会社があるのも、ここで一緒に学んだ仲間たちのおかげです。本当に感謝しております。

そして、その勉強会の仲間たちでバンドを作ることになりました。それがYESBANDです。ベースは増山会員です。「みんなに勇気と元気を届けられる歌を作ろう！」という思いでオリジナル曲を作り、ライブ活動を始めました。

そのころ、パステル画家の辻友紀子さんに出会いました。彼女は、難病の筋ジストロフィーを患っていましたが、精力的に画家活動をしております。私たちは、辻さんの画家活動を支援するためにCDを作り、ジャケット画はすべて辻さんにお願いしました。そして、イベントや学校、企業、介護施設、養護施設などでライブを行い、販売したCDの収益を辻さんに渡すことが出来ました。いろんな施設に行き、たくさんの人たちを応援し、勇気付ける。バンド活動を通してボランティア活動の素晴らしさを学ぶことが出来ました。

そして2018年5月、水戸ロータリークラブに出会いました。YESBANDの演奏としての参加でしたが、大変興味を持ち、2020年10月に当時の内藤会長と増山会員のご紹介で入会させていただきました。しかし、コロナウィルス感染拡大の中、皆様と懇親を深める機会もあまりなく、とても残念に思っています。まずはコロナが明けて、皆様ともっと交流が出来るような世の中になっていくことを切に願っております。

今までの人生を振り返りますと、いろんな人とのご縁で生かされているような気がします。師匠との出会い、創業メンバーや仲間たちとの出会い、そしてロータリークラブの皆様との出会い。これからも、すべての出会いに感謝して、夢を持って行動し、お客様に愛される企業になることを目指して、より一層精進してまいりたいと思います。

# 例会報告

9月第2例会（オンライン）

司会 川崎(隆)委員長

## ◇ ゲスト紹介

米山奨学生 趙 文琪 さん  
新会員候補者 安 隆之 氏

## ◇ 1分間スピーチ

「コロナ禍でのNHK番組対応と自分の近況」

田中 文弥 会員  
「社会奉仕委員会の新たな奉仕プログラムについて」  
横須賀 靖 会員

## ◇ 会長の時間

岡崎会長

皆様こんにちは。  
当初の予定では緊急事態宣言が9月12日まで、  
今回9月第2例会までオンライン例会、次回から  
は通常例会の予定でしたが、茨城県に対する  
緊急事態宣言が9月30日までと延長されました。  
大変残念ですが、次回、9月28日の第4例会  
もオンラインとさせていただきました。

さて、本日は、中庭会員のイニシエーション  
スピーチです。中庭会員、よろしくお願ひいたします。  
また、1分間スピーチ、田中文弥会員、  
横須賀靖会員、よろしくお願ひいたします。  
第3例会は祝日がある週で休会としていますので、  
今回の例会は約2週間、YouTube配信されます。

この様な状況下ですが、9月26日には海岸  
美化プロジェクトが予定されています。まだ、  
開催されるかどうか決まっていないそうです。  
開催される場合には、感染に細心の注意を払い、  
ご参加いただければ幸いです。

希望を持てる話題として、「国民の半数が2  
回目のワクチン接種を終えた」とのニュースが  
ありました。ワクチンの効果により感染者、重  
症者が減少することを願います。新型コロナが  
落ち着き緊急事態宣言が解除されれば、10月  
からは水戸三の丸ホテルに例会場が変更となり  
ます。実は、一昨日、10月からの例会に備え、  
水戸三の丸ホテルへ音響テストに行ってまいり  
ました。改装が終わり、フロントの場所も変わっ  
ていました。他にも、いくつか変更がありました。  
皆様、例会で訪れる日を楽しみにしていて  
ください。そしてもう一つ、例会場で、ロー

タリーソングが流れる日を待ちにしたいと  
思います。

それでは、本日の例会、よろしくお願ひいた  
します。

## ◇ 出席報告

山口(晃)委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
116名	71名	45名	66.98%

前週訂正出席率 89.62%

## ◇ 会員メークアップ

9/12 ロータリー奉仕デー・  
地球環境グローバルセレモニー  
井上 壽博

## ◇ にこにこBOX (web)

鈴木(勝)委員長

中庭会員(※)……妻の誕生祝いを頂きありがとうございました。本日は卓話をさせて頂きます。どうぞよろしくお願ひいたします。

篠田会員(※)……私と妻の誕生祝を頂き、ありがとうございました。

鈴木(勝)会員(※)……役立つ誕生日プレゼント  
ありがとうございます。

※後日入金

本日の合計	3件	25,000円
-------	----	---------

## ◇ 幹事報告

白田幹事

1. 緊急事態宣言が、9月30日までとなりま  
したので9月28日(火)はオンライン例会とな  
りました。

2. 水戸市内6RC会長幹事会が開催されます。  
提案議題がございましたら幹事までお申し出  
ください。

とき 9月24日(金) 18:30

ところ 水戸プラザホテル

議題 1) 各クラブの現況報告

- 2) 水戸市内6RC合同例会について
  - 3) その他
- 出席者 岡崎恵一郎会長、白田 礼治幹事

### ~~~~~ 基本的教育と識字率向上月間 ~~~~ リソースのご案内

〈RIページ〉

#### ► 教育の支援

ロータリーが行う「教育の支援」の目標は、地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高めていくことです。

重点分野の1つ、「教育の支援」についてロータリーの活動ページです。

#### ► ロータリーショーケース

ロータリーショーケースでは、ロータリークラブや地区が実施した様々な活動や計画中のプロジェクトの情報を掲載・閲覧することができます。ぜひ世界中のロータリアンによる基本的教育と識字率向上に関するプロジェクトをご覧ください。プロジェクトの掲載はMy Rotaryへのログインが必要となります。

#### 〈ウェブ掲載記事〉

#### ► シリアの子どもたちを守る

2019-21年度ロータリー平和フェローのムーイー・ヤンさんは、視察で訪れた炭鉱で子どもが働いているのを見て驚きました。そのきっかけから恵まれない子どもたちの支援に携わり、ロータリー平和フェローとしてウプサラ大学（スウェーデン）に留学、現在はシリアで社会から取り残された子どもたちのための非営利学校を設立、運営されています。

(2021年2月、ロータリーボイスより)

#### ► ラダック成人女性識字プロジェクト

ラダックは、ヒマラヤ山脈の西の端に位置するインドの自治州で、住民はチベット仏教の敬虔な信者です。国際ロータリー第2780地区とインドのニューデリー・ロータリークラブが、グローバル補助金を得て実施したこのプロジェクトによって、2015年ラダックの州都レーに3つの識字教育センターが開かれ、2017年8月の時点で87名の成人女性が

読み書きを身につけました。

(2020年8月、ロータリーボイスより)

#### ► ミャンマー小学校建設で広がる奉仕の輪

東京東江戸川ロータリークラブは、2016-17年度に世話クラブとして出会ったミャンマーからの米山記念奨学生モー・トゥザー・チョウさんの「母国ミャンマーの田舎に小学校を建設する」という夢に心を動かされ、ミャンマーに3校の小学校を建設されました。

(2019年10月、ロータリーボイスより)

#### ► 夢を背負って、未来へ～思い出のランドセル、 金沢からミャンマーへ～

金沢南ロータリークラブがクラブ創立50周年を迎え、「国際奉仕」をテーマにした事業を行いました。子供たち、父兄の皆さんのご協力により、金沢市内の小中学校卒業生のランドセルを100個ミャンマーへ寄贈しました。金沢の子供たちの夢の詰まったランドセルや文房具を使って学び、自国の発展だけでなく、世界の人々の友情と平和に貢献できる大人になることを期待したいと思っております。

(2019年8月、ロータリーボイスより)

—ロータリーウェブサイトより—



週報担当 長野 久嗣 委員長

#### 例会予告

10月5日(火)於 水戸三の丸ホテル  
卓話「水戸市政報告  
～コロナ対策と市民会館への期待～」  
水戸市長 高橋 靖氏

10月12日(火)  
卓話「ロータリー財団について」  
地区グローバル補助金担当委員  
黒木 雅宏氏(水戸西RC)

10月19日(火)  
卓話「これからのロボッツ  
「B1での戦い」」  
茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント  
代表取締役 西村 大介氏

10月26日(火)  
卓話「ガバナー公式訪問を控えて」  
第3分区ガバナー補佐 大木 清実氏  
(水戸さくらRC)